



一月二十三日に久礼田
小一年生がなんごと共同
作業所に、三月四日には
三和小一年生が自転車の
お年寄りに、自分たちの
手で育てたビヤシンスを
プレゼントしました。

この活動は、高知県人
権擁護委員連合会と高知
地方法務局が、子供たち
に花を見てることを通じ
て、優しい心を身につけ
てもらおうと実施している

もので、昨年十月に各小
学校に五十個ずつビヤシ
ンスの球根を委託してい
ました。

子供たちは「体に気を
つけておは事がんばって
ください」「これからも
元気で長生きしてください」とあべさつ。きれい
に咲いたビヤシンスを一
人一人に渡した後、歌を
歌つたりして、交流を深
め合っていました。



仲良く



南国市連合婦人会（別役敏子会長）の主催で、毎年実施されている「市政会議」が、2月26日、南国市役所で開かれました。

会議は模擬市議会形式で行われ、11地区の婦人会の代表44人が市執行部を相手に活発に意見を交換。

「10万都市への創造」をテーマに、文化の森公園建設や後免町再開発、これからの女性問題など六項目にわたり市の考え方をただしました。

新たよ、スタート



30回を数えた伝統の農協訪問駅伝大会が近年の交通事情から存続が困難になり、やむを得ず中止となっただ後、規模を約半分にしてスタートした南国市駅伝競争大会。

2月14日、マラソン日和にもめぐまれ、参加者は49チーム、376選手に。大町市長から「南国市はマラソンのメッカ、第1回の記念の大会でもあり、大いに健闘を」と激励を受けた後、選手たちは力強くスタートしました。

優勝したのは次のチームです。

一般の部=南国市役所A.C.A.、高校・大学の部=高知農業A、中学の部=香長中A、女子の部=南国陸上クラブ。



さあっ!
いらっしゃい!!

二月二十八日に、土佐はし拳全

日本選手権青団場所が市民体育館で行われ、七十五チーム二百二十九人が優勝を競いました。

これは、ヨ本はし拳南国協会（中村隆之会長）らが主催して毎年実施しているもので、今年で十四回目。

団体戦と個人戦で争われ、参加者は真剣に、かつ、はるかに氣分で勝負に望んでいました。



捨てないで



川干期間中を利用して、三月七日に舟入川、新川の清掃作業が行われ、流域住民や県南国土木事務所ら約三百五十人が参加しました。

午前八時に集合した参加者は、ゴミ袋やビニールなどを回収し、二・三トランク十八台分のみが集められました。

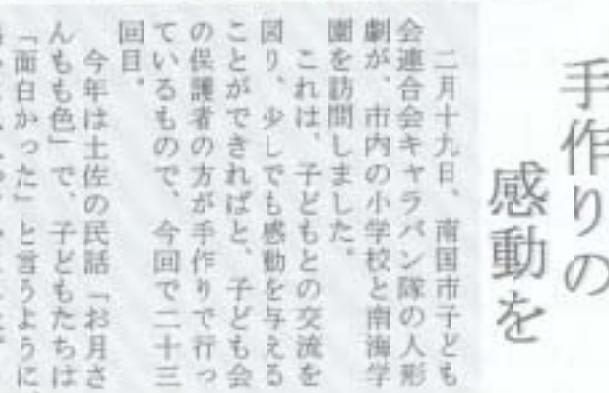
ごみの量は年々少なくなってきている

ことがあります。これからも市民一人一人が環境美化に心掛け、みんなの川をきれいにしていきたいものです。



春の防火運動期間中の3月4日、吾岡保育園の幼年消防隊が、防火パレードを行いました。

同保育園年長、年中組の三十九名が、笛や太鼓を打ち鳴らしながら、約一キロを行進。おそらくのベレー帽をかぶり、「火の用心!」と元気良く防火を呼び掛ける可愛らしい消防隊に、道行く人も振り返っていました。



手作りの
感動を

今年は土佐の民話「お月さんもも色」で、子どもたちは「面白かった」と言うように、熱心に見入っていました。

これは、子どもとの交流を図り、少しでも感動を与えることができればと、子ども会の保護者の方が手作りで行つていて、今まで二十回目。

これは、市内の小学校と南海学園を訪問しました。劇団が、市内の小学校と南海学園を訪問しました。

劇団が、市内の小学校と南海学園を訪問しました。

これが、子どもとの交流を図り、少しでも感動を与えることができればと、子ども会の保護者の方が手作りで行つていて、今まで二十回目。

今年は土佐の民話「お月さんもも色」で、子どもたちは「面白かった」と言うように、熱心に見入っていました。